

あし

ハイキングクラブ



ちんぐるま

第317号

2016年3月10日発行

先月の山行

☆ 2月14日 (日) 越知山

☆ 28日 (日) 取立山

山行報告参照

3月の予定

★ 10日 (木) 例会

☆ 13日 (日) 越前かぶと

CL 荒川勝巳

27日 (日) 銀杏峰

6時半

CL 宮本重信

冬季は積雪を考慮し決定します。

4月の予定

☆ 10日 (日) バンビライン勝山

☆ 14日 (木)

☆ 17日 (日) 大仏寺山

CL

5月1日 (日) 鷲走ヶ岳

CL

遭難対策基金 1000円

年会費 6000円会計 (伴藤) まで

行ってみたい山募集中♡

山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。
(都合により例会に出席できないが、山行込みをしたい場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

山行計画書を提出して下さい

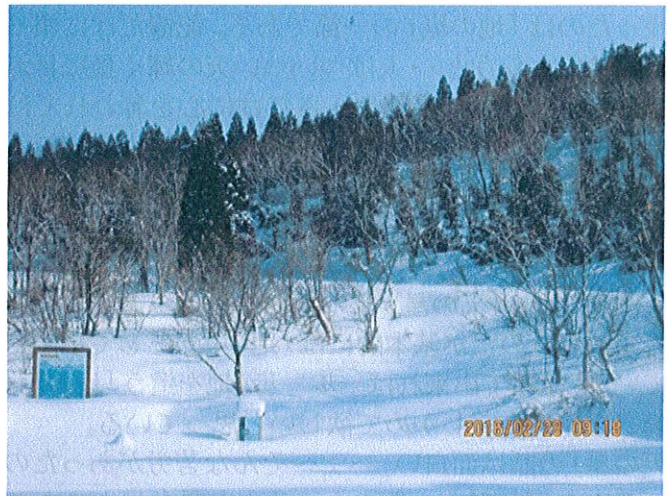
クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

山行報告

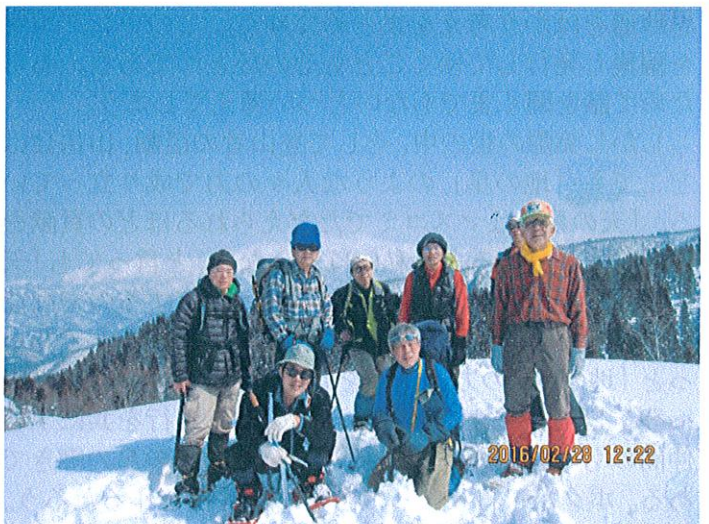
取立山 1307m

日時 2016年2月28日

ミズバショウの群生地と白山展望が楽しみの山



無雪期の登山口の案内板、登山届BOXも通年埋もれたるも今年は雪少なく半分突き出ている状態に！



投稿

「天の星と地の塩」

荒川勝巳

ついこの間も、登山家の田部井淳子さんがNHKテレビに出ていた。「一步一步」が大切だと言う。その通りである。彼女に文句をつけるつもりはない。高みへ向かって努力を重ねたことは人後に落ちないであろう。でも、少しもてはやし過ぎではないだろうかとも思ってしまう。

20歳のころ基督教の聖書を読んだ。ひとつ心に残ったのは「地の塩」の一節である。記憶だけに頼って書かせてもらおうと・・・人はついつい天の輝く星に目がいってしまう。その素晴らしさだけに心を奪われてはいけない。この地上には、ひたすら日々の努力を重ねる「地の星」という人々がいる。この人達こそが偉大なのだ・・・。

若い日のボクは、この一節に感動して「地の塩」ならんと決意した。「天の星」になりたいという希望も少しはちらついたのだが基本的には「地の塩」として歩いてきている。そして出来れば一步一步、地を這う「地の塩」の輝きを皆にもたしかめて欲しいと思っている。

「天の星」の話は面白い。へえ～そんな苦労があったのか。そんな喜びがあったのか。そんな景色にあえたのか・・・それに対して「地の塩」の話はあまりにも身近である。チラシを作り電話をかけ、券を売り、調べものをし、会費を集め、ハンドルをにぎる。人と人との間の意思疎通をはかり考えをまとめてゆく。このチングルマを編集し発行してゆくこともそのひとつである。あらためて話を聞くまでもないといふ考えてしまう。

しかし実際の世の中、そして登山者の活動、山岳会は、どこでも「地の星」のような人々の力で成り立っている。「天の星」はマスコミでたたえられるほどの貢献を世の中に行っているとは私には思えない。と言っても「天の星」の話を有難く聞くのをボクは否定するのではない。それはそれでいいのである。でも、そのあとでちょっと「地の塩」の方にも目を向けて欲しいのである。山へ登る自分を支える家族の日々の営み山行を共にする仲間のもの言わぬ貢献・・・それこそが地上の星の輝きである。ボクがNHKだったらそんな番組を作るだろう。

「編集後記」

西谷聖祐様、お手紙ありがとうございます。これからもマイペースで山登りを楽しんで下さい。

東方の光

我が家は、東側が正面で窓から奥越の山並が見えている。とくに、丈鏡山1045m [たけくらべ] が目の前に飛び込んでくる。晴天の早朝そこからのご来光が最高に美しい・・・身近な所に幸せを感じています。



白い山は白山、岐阜県側より

shinobu@nifty.com に送信ください。

畑中義和